

(別紙1)

## 総括研究報告書

課題番号	2023C-8						
研究開発課題名	日本の小児集中治療室における持続的腎代替療法の前向き多施設レジストリ研究						
分類※	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④	<input type="checkbox"/> ⑤	<input type="checkbox"/> ⑥	<input type="checkbox"/> ⑦
区分	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input checked="" type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> S		
主任研究者	所属	集中治療科					
	役職	医長					
	氏名	井手健太郎					
実施期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日						

### 成果の概要

当該年度の目標としての多施設レジストリーの構築を行い（UMIN の INDICE CLOUD で実施可能）、既に症例集積を開始しており、2024年3月31日現在で89例の入力を確認している。研究プロトコルを学術誌に報告した（Haga 2023）。2023年8月までの入力状況の確認を含めての中間解析を研究協力者である芳賀大樹が第51回日本集中治療医学会学術集会で発表した。

2024年2月には埼玉県立小児医療センターにて研究参加施設メンバーを集めての班会議およびサイトビジットを開催した。国内11施設から小児集中治療医が集まり、サイトビジットでは埼玉県立小児医療センターの臨床工学技師も含めた意見交換会を行い、臨床向上に役立つ機会となった。班会議では、レジストリにおけるクリニカル クエッションのブラッシュアップに必要な知識の共有を行うとともに、レジストリ改善にむけた情報交換、今後のリサーチグループの結成に関して重要な協議を行うことができた。

2013-2022に当院で腎代替療法を受けた330例の成育過去レジストリを作成した。レジストリ概要に関して、2023年の急性血液浄化学会で発表、2024年3月の日本集中治療医学会にて2演題を発表した（小児急性血液浄化における透析カテーテル寿命に関する検討（岸田）、小児急性血液浄化における透析カテーテル関連血流感染症に関する検討（諸田））。また、世界PICU学会に優秀演題候補として口演で採択された（小児AKI患者の透析離脱困難のリスク因子における後方視的観察研究（徳田））。

当初の予定である多施設レジストリの構築と開始は実施しており、さらにレジストリ内容をブラッシュアップするための班会議および後方視的レジストリも構築できている。2024年度の成育医療研究開発費に採択され、2025年度の科研費申請の準備を行っており、今後も国内PICUを広く巻き込んだ研究を進める体制が整いつつある。